

令和6年度茅ヶ崎市総合体育大会野球競技少年の部  
兼 第36回茅ヶ崎市秋季選抜少年野球大会  
兼 第4回スポーピアシラトリ杯争奪学童軟式野球大会  
第1部開催要項

- 主催 茅ヶ崎市  
主管 特定非営利活動法人 茅ヶ崎野球協会  
協賛 スポーピアシラトリ  
開会式 9月7日(土)9:00～  
試合日時 9月7日(土)から11月4日までの土・日・祭日  
試合開始 午前9時(会場により変更の場合あり)  
会場 茅ヶ崎公園球場 芹沢スポーツ広場、市内小学校他  
競技資格 ① 協会に登録しているチームの小学校3年生以上6年生以下の児童。  
② 代表者(成人)が必ず引率して参加できるチームであること。  
③ 参加者全員がスポーツ傷害保険に加入していること。
- チーム編成 代表者(成人)1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・マネージャー1名(監督の背番号は30、コーチの背番号は29・28でユニフォーム着用)・付き添い保護者(ビブス着用)2名・選手25名以内(小学校3年生以上6年生以下の児童)でベンチ入りは、10名以上とする。  
主将の背番号は10、その他の選手は10,28,29,30を除く0～99までとする。
- 試合方法
- (1) 試合は、トーナメントとする。
  - (2) 試合は、6回戦とする。
  - (3) 試合時間は80分とし、制限時間を経過した場合は新しいイニングに入らない。  
(注)決められた時間が経過したら、回数に関係なく正式試合となる。
  - (4) コールドゲームは、3回以降、10点差、4回以降7点差以上の時に適用する。  
(3回もしくは4回を終了するか、3回表もしくは4回表終了した時点で後攻側の得点が先行側の得点より多い時はコールドゲーム成立とみなす)
  - (5) 雷、暗黒、降雨、光化学スモッグ、日没等で4回以前に中止になった場合、翌実施日の第一試合に先立って特別継続試合行う。決勝戦は再試合とする。  
但し、4回を終了するか、4回表を終了した時点で後攻側の得点が先行側の得点より多い時はゲーム成立とみなす。  
決勝戦は、時間制限を適用しない。ただし、同点の場合は、引き続き特別延長戦を行う。
  - (6) 延長戦は行わず、1イニングのタイブレーク方式を行う。正位打者が打撃を行い、得点を争う。  
前回の最終打者を一塁走者とし、二塁・三塁の走者は順次前の打者とする、一死満塁の状態にして行う。  
(代打・代走は自由)なお、決しない場合は抽選とする。
  - (7) 使用ボールは、公認J号球とする。
  - (8) ユニフォーム、アンダーシャツ等  
① 同一チームで同色、同形、同意匠の物を使用して下さい。ただし、スパイクを除きます。また、金具の付いたスパイクは使用できません。  
② 袖の長さは両袖同一で、左袖に日本字またはローマ字による県名を必ず付けなければなりません。また、神奈川県に関連するものを付けることができます。
  - (9) 金属・ハイコン(複合)バット等はJSSBBのマークの付いた公認バットを使用して下さい。  
バットは改造、加工したものは使用できませんが、後付けのフレアグリップの使用については、専用テープ等で完全に固定・被覆されたならかな形状のものであれば使用を認めます。
  - (10) 捕手は、連盟公認のマスク・ヘルメット・プロテクター・レガースを使用して下さい。また、危険防止のためフェウルカップも必ず装着して下さい。(ただし、女子は装着を推奨します)
  - (11) 打者、次打者、走者、ベースコーチは連盟公認のイヤーフラップ付きヘルメットを着用して下さい。
  - (12) スパイクは、金具の付いたのは使用できない。
  - (13) ヘルメットは必ず、打者、次打者、走者、走塁コーチとも着用のこと。チームで7個以上用意のこと。
  - (14) 1試合かつ1日の1投手の投球数は、70球とする。ただし4年生以下は60球以内とする。又、当該打者の終了までの続投は認める。
  - (15) 抗議ができるのは、監督と当該プレイヤーのみとする。
  - (16) 公認規則5・10(d)〔原注〕「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから、投手以外の守備位置に移ることもできない。投手以外の負傷退場した野手に代って出場したプレイヤーは5球を限度としてウォームアップが許される。」の前段は採用しない。したがって、投手の守備位置の交代は自由である。
  - (17) 申告故意四球を採用する。(監督のより申告)その場合の球数はカウントしない。

- (18) 指名打者の取り扱いについて  
指名打者(投手に代わって打つ打者)ルールを使用することができますが、二刀流選手は採用しません。  
チームは必ずしも指名打者を指名しなくてもよいですが、試合前に指名しなかったときは、その試合で指名打者を使うことはできません。
- (19) その他は、野球規則(最新版)・全日本軟式野球連盟発行の競技者必携の学童部に関する事項で行う。
- (20) 3位決定戦は実施いたしません。

### 注意事項

- (1) 試合開始時間及び会場は、後日通知します。ホームページに掲載する。  
会場責任担当チームは主催者が指名して通知します。
- (2) ベンチは抽選番号の若いチームを一塁側とする。
- (3) 試合中のヤジ等については、指導者が十分注意すること。
- (4) 走塁コーチは登録選手が行う。
- (5) 試合前のシートノック及びバッティング練習等の時間は特別には設けない。
- (6) グラウンド(校庭)以外でのキャッチボール、バッティング等の練習は禁止する。
- (7) 試合開始予定時間30分前には集合のこと。会場に到着したらすぐにメンバー表(指定)を本部に提出すること。(試合開始が早まる可能性があるため30分前集合には、こだわらない。)
- (8) 登録の変更は、チームの最初の試合まで。(ただし、チーム間の変更は認めない。)その後は変更できない。
- (9) メンバー表には、先発の9~10名及び、交代要員を記入する。出場申込書によって登録の有無を確認する。  
登録選手の10名以上がベンチ入りすること。(当日休みの選手を含め記入すること)
- (10) 試合会場に到着いたしましたらすみやかにメンバー表を提出願います。メンバー表を提出してからのアップ  
場所提供となります。
- (11) 攻守決定後は、背番号のついていない指導員は練習に参加出来ません。
- (12) 試合中の指導者とのキャッチボールは許可します。(ただし、ピッチング練習のキャッチャーをするのであれば、  
防具を着用のこと。)
- (13) 球場内練習時のバット使用は素振りとバントのみとする。(必ずヘルメット着用のこと)
- (14) 監督代行は29または28が担当すること。その場合は他の人が30をつけることは許されない。
- (15) グローブの紐の長さの制限。紐が鞭のようになり危険防止のため。(支部では親指の長さを推奨)
- (16) グラウンド内(ベンチ含)での服装に注意すること。(短パン、スパッツ禁止です)
- (17) 監督・コーチ・選手は統一ユニフォームを着用の事(ロングパンツは禁止です)

### 各試合の審判について

原則として、球審は公認審判員が行い、塁審については事前に登録されたチーム審判員が行う。  
チーム審判の服装は白/青ワイシャツ・ポロシャツ、紺ズボン、黒又は、紺の靴下、運動靴でお願いします。

### 抽選方法について

- (1) 審判員及び試合終了時に出場していた両チームのメンバーが、投手からポジション順にあいさつの状態に  
整列する。
- (2) 抽選用紙に○印、×印各9枚記入したものを封筒に入れる。
- (3) 球審が18枚の封筒を持ち、先行チームより1枚ずつ交互に選ばせる。
- (4) 二人の審判員が両チームの監督立会いのもとに開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。

### 連盟取り決め事項

- (1) フェールボールが打たれた場合は、一塁側のものは一塁側ベンチ、三塁側のものは三塁側ベンチ、本塁後  
方のものは攻撃側ですみやかに処理する。
- (2) 攻守交代の時には、ボールを必ず投手板近くに置いて交代すること。
- (3) 投手の準備投球は原則として、試合開始の表裏、救援投手は捕手を相手に7球以内(時間にすれば1分以  
内)とし、次回からは3球以内とする。
- (4) 攻撃側は、第三アウトが成立したら、プレイヤーは素早くベンチを離れて、駆け足で守備に向かうこと。とくに  
バッテリーは、準備投球があるから、率先してベンチからでること。
- (5) 投手は返球を受けたら直ちに投手板について投球姿勢をとらなければならない。なお、打者が打撃姿勢を  
とっているのに、投手がボールをもってマウンド上で無駄な動きをしたり、投手板についてもなかなか投球しな  
かった場合は注意を与える。
- (6) 投手の塁への送球で無用と思われる塁への送球が度を過ぎれば注意を与える。
- (7) 捕手は、できるだけ捕手席から投手に返球すること。
- (8) 捕手が、投手のところへ行くとときは、往復とも駆け足とする。
- (9) 次打者は、前打者の打撃が完了したら、すみやかに打者席に入って打撃姿勢をとること。
- (10) 打者は、打者席を外してサインをみることを禁止する。
- (11) 打者は、「タイム」を要求してロージンをつけに行くと許されない。

- (12) 投手が投手板に触れ投球位置についたら、動揺を誘うような大きな声を発することを禁止します。
- (13) ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を委縮させるような言動を禁止します。
- (14) ファールボールが打たれたときは、走者は駆け足で戻ってもとの塁に触れること。
- (15) 内野手が投手のところへ集まるときは、往復を駆け足で行い、このためにプレーの開始を遅らせてはならない。
- (16) 監督は、ピンチの時以外は、投手を交代する時を除いて、投手のところへ行くことは許されない。なお、選手をベンチに呼び寄せることを禁止する。
- (17) ベンチから、数多く無用と思われるサインを送ることは許されない。
- (18) 捕手を含む内野手が、1試合に投手の所にいける回数を、3回以内とする。(タイブレーク1回につき1回)
- (19) ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を委縮させるような言動を禁止します。
- (20) 選手や審判員に対する全てのヤジを禁止します。また、グラウンド外からの応援団のヤジおよび目に余る行為はチームの責任とします。  
その他の事項については、(公財)全日本軟式野球連盟発行の競技者必携(最新版)少年野球
- (21) に関する事項を読まれること。不明点は各地区の育成員に確認すること
- (22) 大会中シラトリ様が写真を撮影することがあります。撮影した写真をシラトリ様の店で公開することがあります。公開を拒否されるチームは申し出てください。
- (23) チーム集合写真等を「P&P浜松」が試合開始前に撮影した場合。後日、同社から見本がチームに送付されますので、代表者の個人情報開示承諾者を提出してください。

### 各小学校使用上の注意事項

- 1. チームの駐車台数につきましてはHPでお知らせしますが、指定台数以上の駐車は禁止します。  
特に応援の方にも周知下さるようお願いいたします。  
駐車カードを発行する場合は必ず見える場所に提示願います
- 2. 自転車は、カギをかけ整理しておいて下さい。
- 3. グラウンド(校庭)内の、鉄棒・サッカーゴール・固定遊具等に乗ったり、登ったりしないで下さい。
- 4. 非常階段等、グラウンド(校庭)以外の所には、立ち入らないで下さい。  
(校舎の壁にボールを投げ当てない等)
- 5. チーム内で、出たゴミは、必ず持ち帰って下さい。
- 6. 午前8時30分以前の練習時には、声をださないようお願いします。
- 7. 試合終了後は、両チームでグラウンド整備をして下さい。  
\* 試合進行状況等により変更がありますのでご了承下さい。

### 事務連絡

- 1. 大会雨天時の連絡については
  - ① 開会式については、午前7時に決定し、午前7時00分より野球協会ホームページで確認して下さい。
  - ② 9月7日以降は、午前7時までに大会開催の有無を決定しますので、午前7時以降に野球協会ホームページで確認して下さい。  
協会HP (<http://w01.drive-net.jp/~x017104442/top.htm>)
- 2. 開会式について
  - 開催決定 午前7時00分
  - ① 受付 8:30 ~ 8:45  
開会式の受付は、茅ヶ崎公園野球場正面入口前。受付を済ませた後、役員の指示に従って指定された場所に整列して集合して下さい。
  - ② 選手入場 8:45
- 3. 野球場周辺は公園ですので、バットスイング・キャッチボールは禁止になっております。チームの選手・指導者の皆様に徹底してください。